

エコアクション21

2022年度 環境経営レポート

環境経営方針

株式会社ヤコー 環境経営方針

〈基本指針〉

私たち株式会社ヤコーは限りある資源を有効利用し、企業活動における環境負荷の低減を図るため、全社一丸となって地球環境保全に取り組めます。

〈行動指針〉

- ① 電力・燃料の削減を把握することにより CO2 排出抑制を目指します。
- ② 使用部材、用紙、廃棄物の減量、再使用、再生利用を推進します。
- ③ 節水に努めます。
- ④ グリーン購入を促進させます。
- ⑤ お客様に商品の環境情報を積極的に提供するとともに環境対応商品の販売促進に努めます。

事業活動において環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

また、この環境方針を全社員に周知すると共に一般にも公開します。

制定日：2011 年 7 月 1 日

改定日：2018 年 7 月 1 日

株式会社ヤコー

代表取締役 高田大輔

組織概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ヤコー 代表取締役 高田大輔

(2) 所在地

東京都八王子市追分町 18-17

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

高田大輔

TEL：042-627-1812 FAX：042-627-1890 E-mail：dk.takada@yako-co.com

(4) 沿革

昭和 45 年 4 月 資本金 200 万円で渋谷区笹塚に本社設立
 昭和 53 年 7 月 世田谷区南烏山に本社移転
 平成 7 年 11 月 資本金 1000 万円に増資
 平成 9 年 9 月 八王子市追分町に本社移転
 平成 11 年 9 月 資本金 2000 万円に増資
 平成 12 年 5 月 資本金 3000 万円に増資
 平成 17 年 6 月 本社増築
 平成 23 年 6 月 エコアクション 21 取得

(5) 事業内容

プリント配線基板製造に係わる薬品・資器材・装置の販売

(6) 事業規模

	単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度
従業員数	人	9	9	8
敷地面積	m ²	407	407	407
床面積	m ²	488	488	488

(7) 事業年度

7 月～6 月

(8) 資本金

3000 万円

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ヤコー

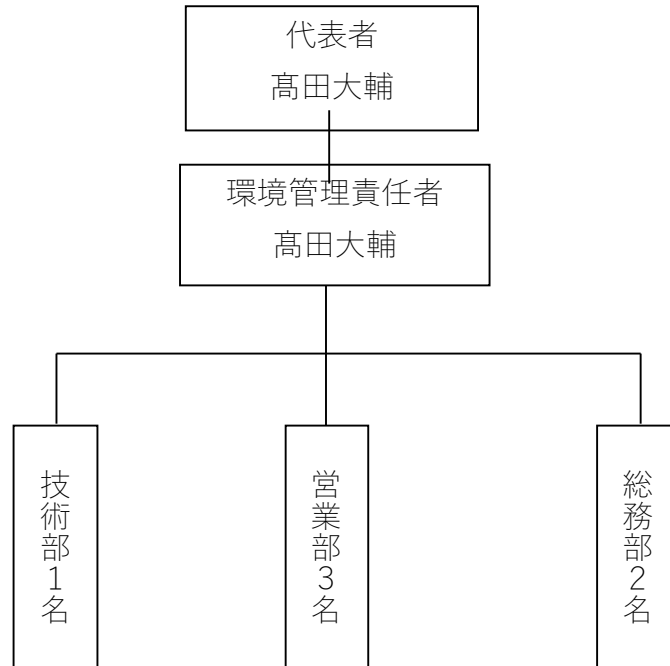
関連事業所：なし

対 象 外：なし

活 動：事務所・営業販売

実施体制

環境管理組織図



役割

代表者 環境管理責任者	環境マネジメントシステムに関する統括責任者 ・実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意する ・経営における課題とチャンス明確化 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・実施体制の構築と見直し ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
技術部	環境管理責任者をサポートし、環境適合製品の情報を積極的に集める
営業部	環境管理責任者をサポートし、主に社用車の燃費向上を実施し、お客様からの環境に関する問い合わせの窓口となる
総務部	環境管理責任者をサポートし、レポートのデータ収集を行う

環境経営目標設定

基準年度の環境負荷の状況から今回の環境経営目標を設定した。

大項目	項目名	2022年度	2023年度	2024年度
CO2削減	電力使用量の削減 (排出係数は2011年度0.425kg-CO2を使用する)	2011年度実績(6,113kg-CO2)に 対し 10%削減	2011年度実績(6,113kg-CO2)に 対し 10%削減	2011年度実績(6,113kg-CO2)に 対し 10%削減
	車両の燃料使用量削減 ガソリン、軽油使用量(CO2換算)	2016年度実績(30,999kg-CO2)に対し5%の向上	2016年度実績(30,999kg-CO2)に対し5%の向上	2016年度実績(30,999kg-CO2)に対し5%の向上
	車両毎の燃料使用量把握 燃費向上目標達成車両数の向上	車両毎の燃費目標をカタログ値の70%に設定し目標達成台数を把握する	車両毎の燃費目標をカタログ値の70%に設定し目標達成台数を100%とする	車両毎の燃費目標をカタログ値の70%に設定し目標達成台数を100%とする
廃棄物量把握 適正管理	① 産業廃棄物の適正管理	排出量把握、マニフェストの適正管理	排出量把握、マニフェストの適正管理	排出量把握、マニフェストの適正管理
	② 事業系一般廃棄物の削減	2011年度実績 (138kg) に対し50%削減	2011年度実績 (138kg) に対し50%削減	2011年度実績 (138kg) に対し50%削減
節水	節水活動と使用量把握	節水掲示、使用量把握(集計表)	節水掲示、使用量把握(集計表)	節水掲示、使用量把握(集計表)
グリーン購入	使用事務用品のグリーン購入	購入金額ベースで割合を95%以上	購入金額ベースで割合を95%以上	購入金額ベースで割合を95%以上
化学物質管理	在庫化学物質の管理徹底	劇物譲受書管理徹底 劇物倉庫をチェックシートにて管理 漏れ事故0%	劇物譲受書管理徹底 劇物倉庫をチェックシートにて管理 漏れ事故0%	劇物譲受書管理徹底 劇物倉庫をチェックシートにて管理 漏れ事故0%
情報提供	SDSの整備、情報更新	SDS管理更新記録管理	SDS管理更新記録管理	SDS管理更新記録管理
	協力会社と環境対応商品開発、 情報共有会議を行う	毎月1回以上開催する	毎月1回以上開催する	毎月1回以上開催する
作業環境改善	作業環境の改善 整理整頓	5Sの徹底 倉庫整頓の維持	5Sの徹底 倉庫整頓の維持	5Sの徹底 倉庫整頓の維持

* 燃費向上は車両毎のカタログ値の70%以上を目標値とした。(達成台数の把握と次年度以降の基準設定)

* 産業廃棄物削減は、販売量の増減に左右される点と、自社で直接使用により、排出されるものではないので排出量把握とマニフェスト適正管理とした。

* 節水は使用量が少ないため、掲示による励行と使用量把握とした。

環境活動計画の取組と具体例

2022 年度環境経営目標を達成するために下記の取組を行った。

項目名	取組（目標達成手段）
電力使用量の削減	1.不使用部屋の消灯確認を毎日行う 2.空調の適正管理（温度設定を夏場 26℃以上、冬場 26℃以下） 3.月毎の電力使用量を把握、また、CO2 排出換算し対象実績と比較確認する（排出係数は 2011 年度のものを使用）
車両の燃料使用量削減 ガソリン、軽油使用量（CO2 換算）	1.車両ごとに自動車運転チェックシートを用いて記入し適正な運転状況と燃料使用量を把握する
車両の燃料使用量把握 車両毎の目標燃費達成	1.車両ごとの自動車運転チェックシートに月毎の燃費を記入し管理する 2.車両毎のカタログ値の 70%以上を目標値として毎月数値を計算し、達成台数を把握する
産業廃棄物の適正管理	1.ウエスの再利用を掲示により励行する(廃棄物自体の削減) 2.産業廃棄物マニフェストを適正に管理できているか毎月チェックする
事業系一般廃棄物の削減	1.掲示による分別排出と裏紙使用の励行を行う 2.事業系ごみ排出量を重さにより把握し月毎にまとめて状況を把握する
節水活動と使用量把握	1.もともとの使用量が少ないため、節水の呼びかけ掲示励行を行い、使用量を把握する
使用事務用品のグリーン購入	1.購入する文具事務用品はリサイクル商品やエコマーク商品とすることを励行し金額による購入割合実績を月毎に把握する
在庫化学物質の管理徹底	1.劇物倉庫確認チェックシートにより倉庫で漏れ事故がないか、また、施錠できているかを確認してその状況を把握する 2.劇物販売時に発行する劇物譲受書の適正管理を毎月確認する
SDS の整備、情報更新	1.取扱商品の SDS(安全データシート)が適切に管理できるよう更新記録に記入する 2.ユーザーからの情報提供依頼に対し、環境・安全調査管理票にまとめ、情報提供に漏れがないよう管理する 3.協力会社と毎月 1 回以上環境対応商品開発や化学薬品取り扱いに関する SDS や法規等の情報交換を目的とした会議を行う
作業環境の改善 整理整頓	1.倉庫兼作業場に 5S 励行の掲示を行い整理整頓の維持を行う 2.毎月整理整頓の状況を確認する

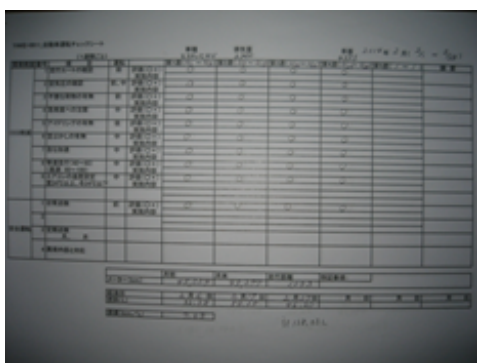
2023 年度の環境活動計画

項目名	取組（目標達成手段）
電力使用量の削減	1.不使用部屋の消灯確認を毎日行う 2.空調の適正管理（温度設定を夏場 26℃以上、冬場 26℃以下） 3.月毎の電力使用量を把握、また、CO2 排出換算し対象実績と比較確認する（排出係数は 2011 年度のものを使用） ＊2011 年実績 6,113kg-CO2/2023 年度目標 5,501kg-CO2
車両の燃料使用量削減 ガソリン、軽油使用量（CO2 換算）	1.車両ごとに自動車運転チェックシートを用いて記入し適正な運転状況と燃料使用量を把握する ＊2016 年実績 30,999kg-CO2/2023 年度目標 29,449kg-CO2
車両の燃料使用量把握 車両毎の目標燃費達成	1.車両ごとの自動車運転チェックシートに月毎の燃費を記入し管理する 2.車両毎のカatalog値の 70%以上を目標値として毎月数値を計算し、達成台数を把握する
産業廃棄物の適正管理	1.ウエスの再利用を掲示により励行する(廃棄物自体の削減) 2.産業廃棄物マニフェストを適正に管理できているか毎月チェックする
事業系一般廃棄物の削減	1.掲示による分別排出と裏紙使用の励行を行う 2.事業系ごみ排出量を重さにより把握し月毎にまとめて状況を把握する
節水活動と使用量把握	1.もともとの使用量が少ないため、節水の呼びかけ掲示励行を行い、使用量を把握する
使用事務用品のグリーン購入	1.購入する文具事務用品はリサイクル商品やエコマーク商品とすることを励行し金額による購入割合実績を月毎に把握する
在庫化学物質の管理徹底	1.劇物倉庫確認チェックシートにより倉庫で漏れ事故がないか、また、施錠できているかを確認してその状況を把握する 2.劇物販売時に発行する劇物譲受書の適正管理を毎月確認する
SDS の整備、情報更新	1.取扱商品の SDS(安全データシート)が適切に管理できるよう更新記録に記入する 2.ユーザーからの情報提供依頼に対し、環境・安全調査管理票にまとめ、情報提供に漏れがないよう管理する 3.協力会社と毎月 1 回以上環境対応商品開発や化学薬品取り扱いに関する SDS や法規等の情報交換を目的とした会議を行う
作業環境の改善 整理整頓	1.倉庫兼作業場に 5S 励行の掲示を行い整理整頓の維持を行う 2.毎月整理整頓の状況を確認する

取組具体例



エアコンのコントローラー付近に省エネ運転推奨の掲示をした。



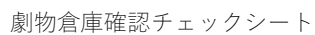
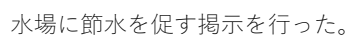
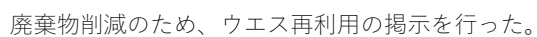
YAKE-0911 省エネ安全自動車運転チェックシート

車輛1台ごとにチェックシートにて管理することで、燃料の無駄使い抑制やエコ運転推奨に役立った。

[illegible]

YAKE-0912_自動車燃費集計表

自動車燃費表により1台ごとの燃費を把握した。



化学物質管理として、劇物倉庫のチェックを1週間ごとに行い、表に記録を残した。

漏れ事故は0であった。

YAKE-0931_環境・安全調査票

環境・安全調査表により、顧客から依頼を受けた製品の環境やメンテナンス時の安全に対する文書提出を期限までに遅滞なく発行できるように管理した。



倉庫、作業場に整理整頓を促す表示をした。

環境経営計画の達成手段取組結果と評価

YAKE-0520_環境経営計画/実績により結果と評価をまとめた。

[illegible]

上記表よりからの評価まとめ

環境目標	目標達成手段	評価
電力使用量削減	不使用部屋の消灯確認（毎日）	○
	空調の適正化（毎日） 夏場 26℃以上 冬場 26℃以下	○
燃料使用量削減	車両毎に自動車運転チェックシートに記入する 燃費も記入する（燃料購入時、月初めに燃費計算）	○
	車両毎に自動車燃費集計表に情報を記入し、燃費目標達成状況を把握する	○
産業廃棄物管理	ウエス再利用励行（掲示のみ）	○
	マニフェストの適正管理	○
一般廃棄物削減	分別排出の励行（掲示）	○
	裏紙使用の励行（掲示）	○
節水	節水の呼びかけ（掲示のみ）	○
グリーン購入	文具購入時リサイクル製品選択	○
化学物質管理	劇物倉庫確認チェックシートにて管理する	○
	劇物譲受書の発行管理(対象製品納品毎)	○
情報提供	SDS 管理更新記録確認（発生都度）	○
	環境・安全調査管理票に記載し、情報提供に漏れがないようにする	○
	協力会社との月 1 回以上の会議	○
作業環境改善	掲示により整頓を促す 月末に整頓状況の確認	△

- ・ 電力消費量削減に関しては、こまめな消灯、エアコン設定温度の徹底は引き続き行う。
 - ・ 自動車運転チェックシートの運用は、記入漏れは 1 件もなく徹底管理出来た。
 - ・ 自動車燃費集計表へは情報を適切に記入した。
 - ・ 産業廃棄物に関しては排出量を把握し、マニフェストの管理・契約書許可証の更新を適正に行った。
 - ・ 一般廃棄物分別励行、裏紙使用の励行掲示を行えた。
 - ・ 節水呼びかけの掲示を行えた。
 - ・ グリーン購入に関して、文房具、コピー用紙はリサイクル用品購入を推奨した。
 - ・ 化学物質管理は劇物倉庫の週一回の確認を行い、漏出事故は 0 だった。
- また、情報提供も管理票にて管理でき、顧客からの環境・安全調査にも遅滞なく対応できた。
劇物譲受書も納品毎に漏れなく発行管理を行った。
SDS 等の情報提供は都度行った。（SDS 更新はなし）

協力会社との月 1 回以上の会議は計画通り 12 回開催できた。

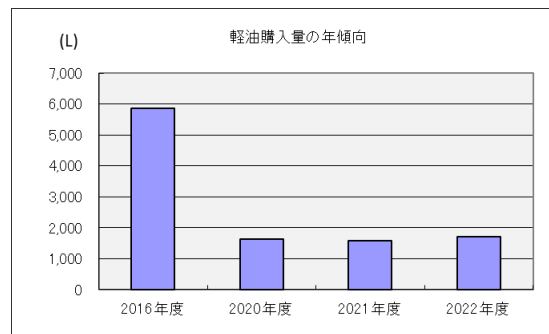
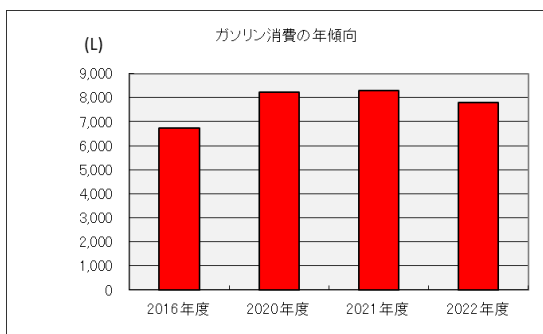
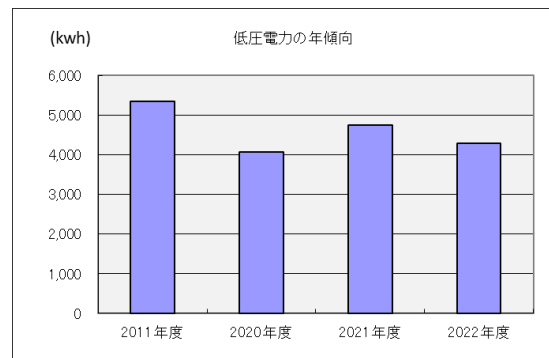
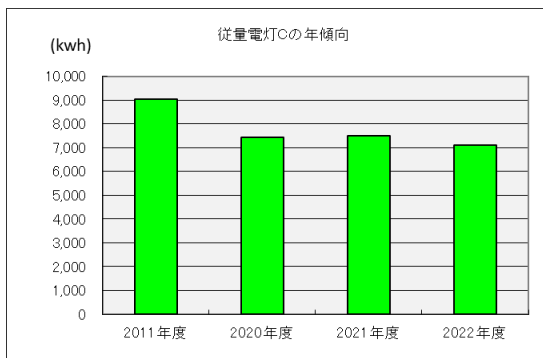
- ・作業環境改善に対する掲示は行ったが、大型連休前の作業が重なる時期に整理整頓が不十分な状態が続くことがあった。

集計結果

大目標	目標内容	対象年度実績	2022年度実績	結果	評価
電力使用量削減	2011年度実績に対し10%削減（CO2換算）	6,113 kg-CO2	4,838 kg-CO2	21% 削減	○
燃料使用量削減	2016年度実績に対し5%の向上	30,999 kg-CO2	22,501 kg-CO2	27% 削減	○
事業系一般廃棄物の削減	2011年度実績に対し50%削減	138.0 kg	22.5 kg	84% 削減	○
節水	数値把握	- L	41 L		○

- ・電力使用量削減：2011 年実績と比較して CO2 換算で 10%の削減目標に対して結果は 21%の削減となった。
- ・燃料使用量削減：2011 年度実績と比較して CO2 換算で 27%と大きく削減できた。
- ・事業系一般廃棄物の削減：2011 年度と比較して 84%削減と大きく目標を達成できた。
- ・節水：使用量を把握した。

使用エネルギー年傾向



代表者評価見直し

電力消費量に関して夏場はエアコンをかけながらも換気を同時に行ったこともあり、比較対象年度より使用量が多くなることもあったが、年間ととして CO2 換算による使用量の比較は大きく削減できた。

ガソリン・軽油燃料使用量は CO2 換算で目標以上に削減できたのでこのままの取組を続けていきたい。今年度は車両毎に燃費カタログ値 70%以上に目標燃費を設定し、クリアできる台数を把握した。達成できた台数が 7 台中 2 台という結果は少なすぎるので定期的に状況を使用者に提供していきたい。

倉庫・簡易作業場の整頓は大型連休前の作業が重なる時期に不十分な状態が続くことがあったので掲示を増やし励行を強化していく必要がある。

その他目標達成できている項目は引き続き継続させていく。

主な環境関連法規への遵守状況

環境関連法規	対応概要	遵守状況
道路交通法	2023 年 3 月 2 日 安全運転管理者講習受講	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
毒物及び劇物取締法	管理者 1 名 一般販売業の登録	遵守
麻薬及び向精神薬取締法	2023 年 5 月再交付を受ける	遵守

また、関係当局よりの違反等の指摘無し。